

目 次

第 1 章 栗山町の概要と農業のあゆみ

1. 栗山町のすがた	1 P	
(1) 位置と地勢	(2) 町名の由来	(3) 土地
(4) 気 象	(5) 人 口	(6) 世 帯
(7) 老年人口	(8) 産業別就業人口	
2. 黎明期から平成までの農業・農村の取り組み	2 P	
3. 農業者による生産振興への取り組み	3 P	
4. 栗山農業ルネッサンスの取り組み	4 P	
(1) 財団法人栗山町農業振興公社の設立		
(2) 第 1 期 栗山農業ルネッサンス（平成 1 4 年度～平成 1 8 年度）		
(3) 第 2 期 栗山農業ルネッサンス（平成 1 9 年度～平成 2 3 年度）		
(4) 「栗山農業ルネッサンス」に基づく交付金の活用		

第 2 章 栗山農業・農村・農家の現状と課題

1. 栗山農業・農村・農家の現状	8 P	
(1) 統計調査から見た現状		
①農家戸数の減少	②高齢専業農家戸数の増加	
③平均経営耕地面積の拡大	④大規模農家数の増加と小・中規模農家数の減少	
⑤農業就業者の減少と高齢化	⑥農地流動化の推進	
⑦生産調整面積の増加	⑧品目別作付面積の推移	
⑨多品目にわたる野菜生産	⑩環境保全型農業の進展	
(2) 農家意向調査から見た現状		
①家族構成	②雇用労働力	③経営耕地
④作物別の作付面積	⑤農産物販売金額	⑥所有機械
⑦これまでの経営目標	⑧今後の取組み課題	
⑨第三者経営継承・新規参入者	⑩グリーン・ツーリズム	
⑪農村景観・風景	⑫農地に関する意向	
2. 今後の栗山農業・農村の課題	1 9 P	
(1) 高齢化の進展と農地の流動化		
(2) 農地の受け手不足		
(3) 農地の生産性向上		
(4) 農村労働力の確保		
(5) 都市農村交流活動の拡大		
(6) 農業所得、農業粗生産額の向上		
3. 栗山町が目指す地域の姿	2 1 P	
(1) 栗山農業の目指す姿		
(2) 農村を守る地域営農システムの展開		

第3章 栗山町農業の振興方向及び戦略プラン

1. 『くりやまブランド』の推進	22P
（1）特色ある農産物の生産	
①安全で安心な農産物生産	②多様な農産物と独自の品目を生かした販売
③顔の見える販売戦略	
（2）魅力のある農村のPR	
①グリーン・ツーリズムの推進	②美しい農村風景づくりの推進
2. 地域を担う『多様な人材』の育成	23P
（1）将来の地域農業を担う人材の育成	
①新規就農者の受入推進	②地域農業の担い手育成
（2）地域を守る組織の設立と育成	
（3）営農支援	
3. 農地有効利用と土づくりで『農地を守る』	24P
（1）農地の効率的かつ全面的な利用	
①農地利用集積円滑化事業の実施	②遊休農地等の再生化推進
③農業経営継承事業の推進	④新規参入者への支援
（2）円滑な農地流動の促進	
①農地流動化等意向調査の実施	②農業地図情報システムの運用と活用
（3）圃場整備・土づくりの推進	
①低コスト圃場整備への支援	②土地改良事業の推進
③土づくり対策の推進	
（4）鳥獣害被害防止対策の推進	
（5）異常気象による農地災害の復旧支援	
4. 10年後の営農形態	27P

第4章 栗山町農業の振興施策

1. 栗山町農業振興公社	28P	
（1）推進体制		
（2）事業内容		
①農地流動化対策	②農地利用集積円滑化事業	
③担い手の育成及び新規就農支援事業	④営農支援及び農業生産法人の育成	
2. 栗山町農業振興事業	29P	
（1）推進体制		
（2）事業内容		
①ブランド対策	②担い手対策	③農地対策
3. 第5次総合計画	30P	
4. 栗山町農業の振興施策・主要事業	31P	

第5章 代表的な目標営農類型

1. 栗山町における代表的な目標営農類型 44 P

【参考資料】

1. 北海道大学農学部による栗山町に関する地域研究論文 別冊